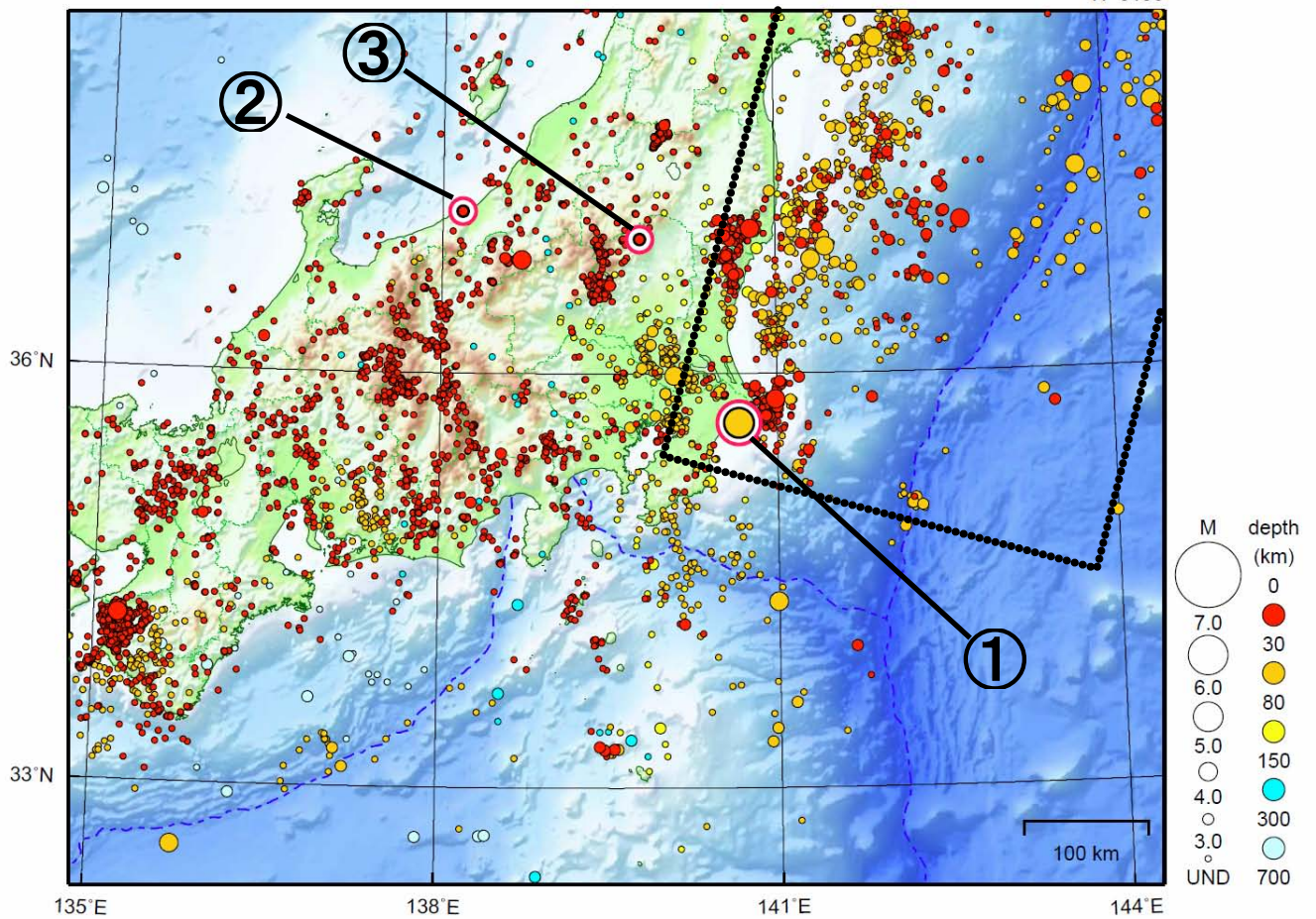


関東・中部地方

2013/06/01 00:00 ~ 2013/06/30 24:00

N=6156



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 6 月 6 日に千葉県東方沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

② 6 月 7 日に新潟県上中越沖で M3.8 の地震（最大震度 4）が発生した。

気象庁はこの地震に対して[新潟県上越地方]で情報発表した。

③ 6 月 27 日に栃木県北部で M3.9 の地震（最大震度 4）が発生した。

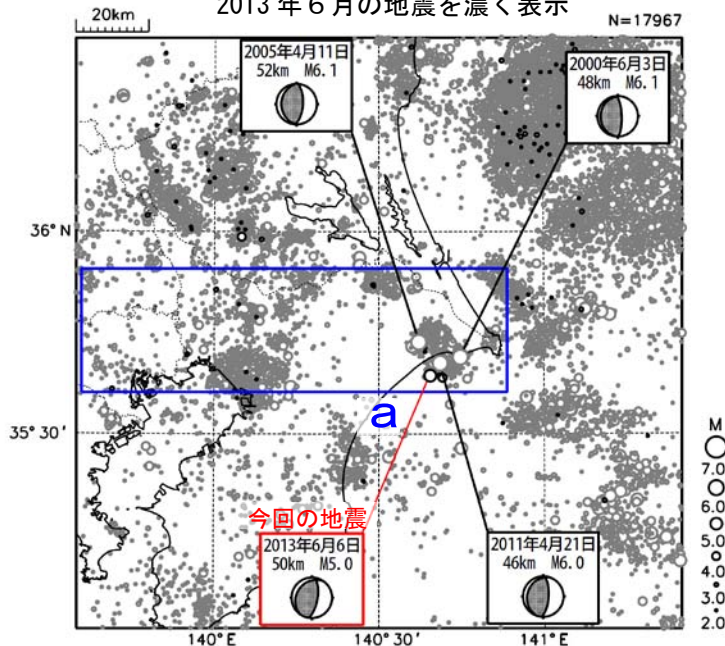
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

6月6日 千葉県東方沖の地震

震央分布図※

(1997年10月1日～2013年6月30日、
深さ30～90km、 $M \geq 2.0$)

2013年6月の地震を濃く表示

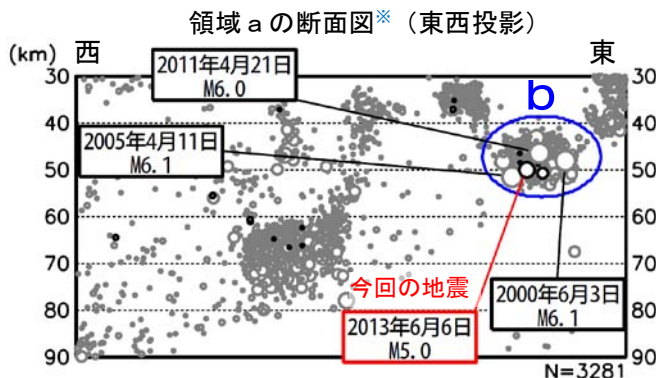
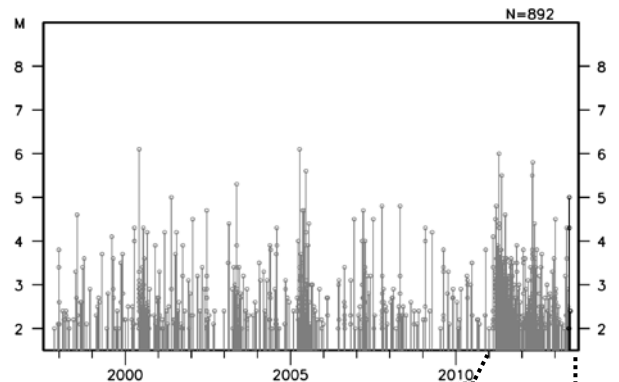


2013年6月6日12時28分に、千葉県東方沖の深さ50kmで $M 5.0$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生前から地震活動があり、東北地方太平洋沖地震の発生後に、地震活動がより活発になっている。

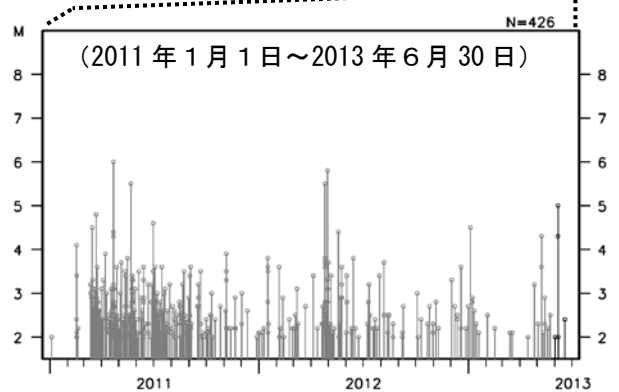
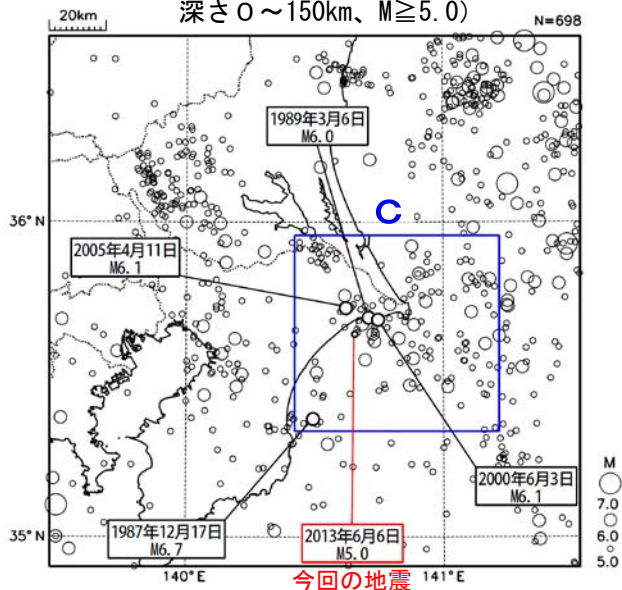
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、そのうち、1987年12月17日に発生した $M 6.7$ の地震では死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、一部破損7万棟余などの被害が生じた(「理科年表」による)。

領域b内のM-T図※

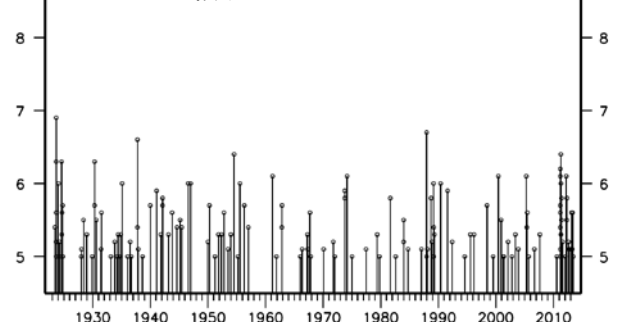


震央分布図

(1923年1月1日～2013年6月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)



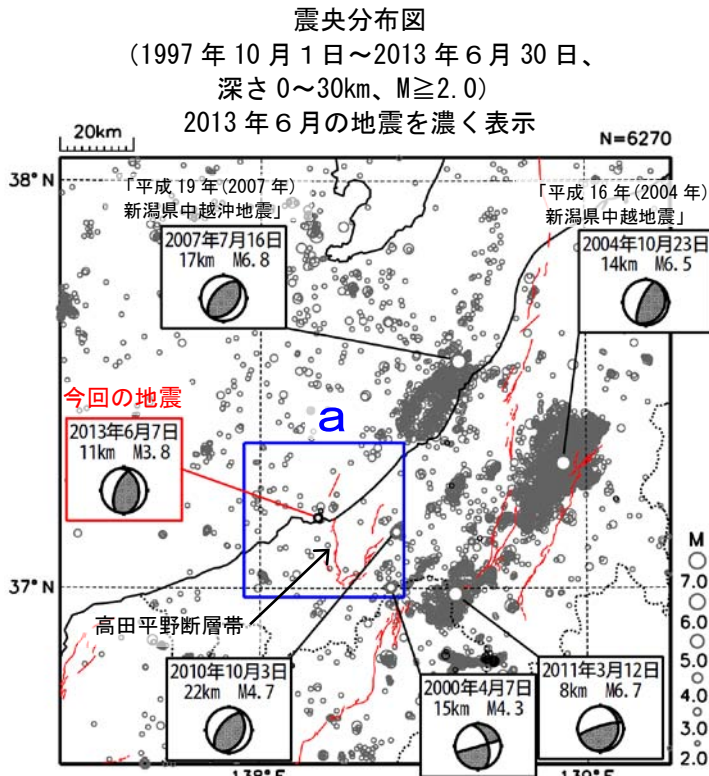
領域c内のM-T図



※2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

6月7日 新潟県上中越沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「新潟県上越地方」である。



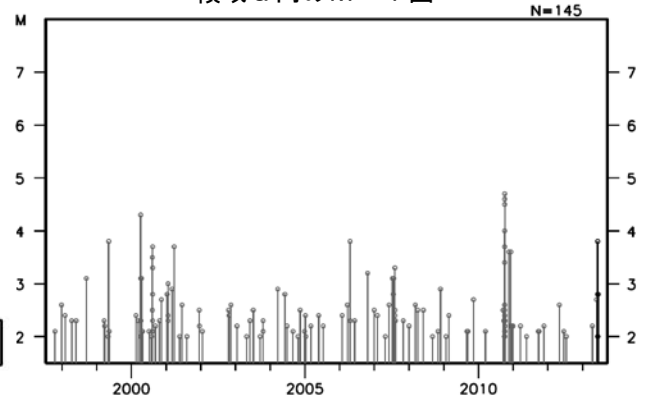
震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

2013年6月7日22時29分に、新潟県上中越沖の深さ11kmでM3.8の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

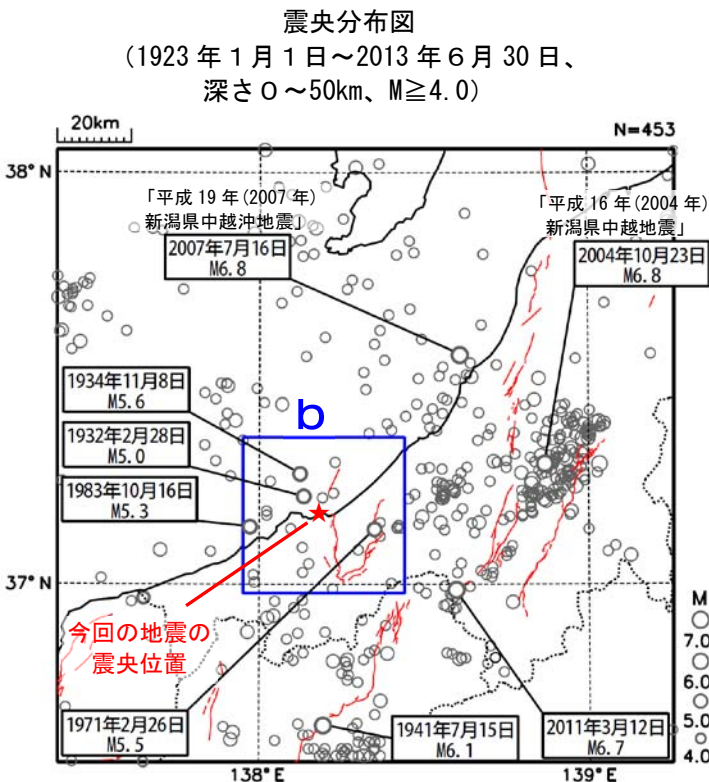
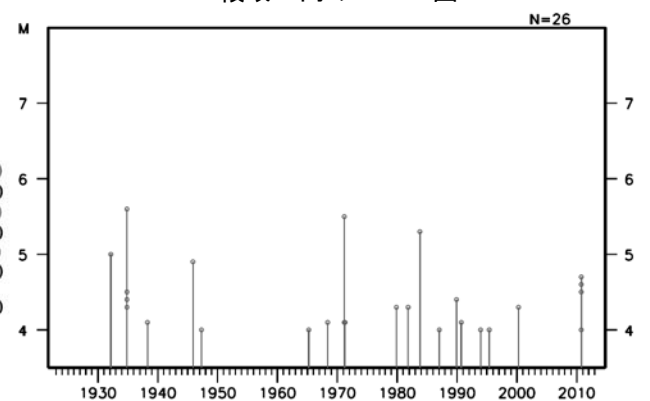
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2000年4月7日のM4.3の地震（最大震度4）と、2010年10月2日から3日にかけての地震活動（最大規模M4.7、最大震度5弱）以外に、M4.0以上の地震は発生していない。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域b）では、M5.0以上の地震が4回発生しており、そのうち1971年2月26日のM5.5の地震では、負傷者13人などの被害が生じた（「最新版日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図

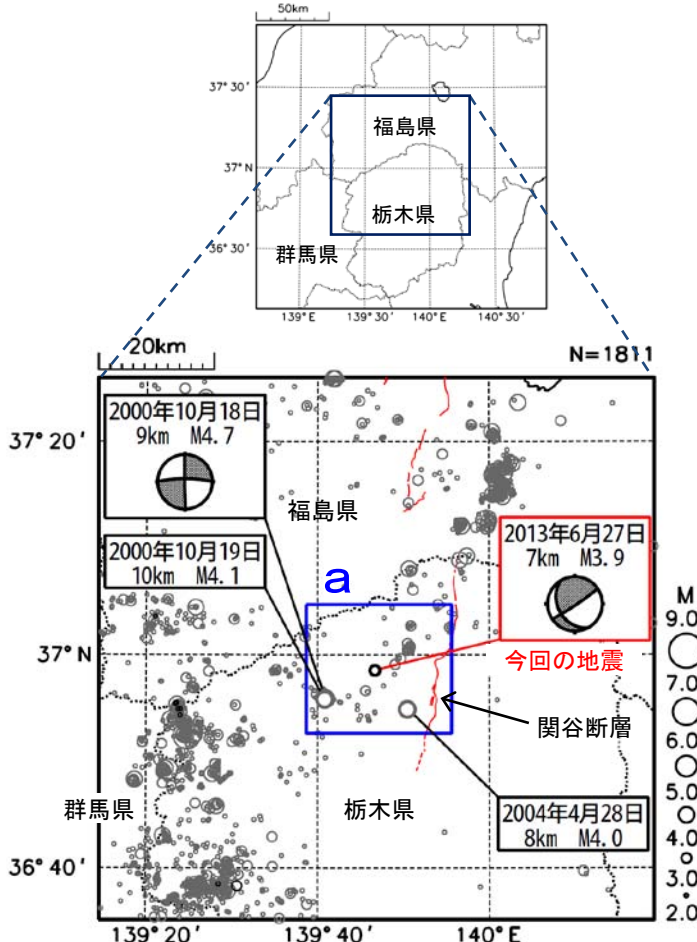


震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

6月27日 栃木県北部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2013年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2013年6月の地震を濃く表示



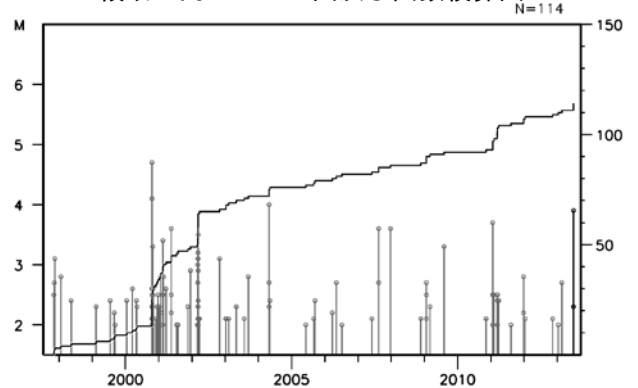
震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による
主要活断層帯を示す

2013年6月27日16時13分に栃木県北部の深さ7kmでM3.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)で発生したM4.0以上の地震は、2000年10月18日(M4.7)、19日(M4.1)、2004年4月28日(M4.0)の3回である。

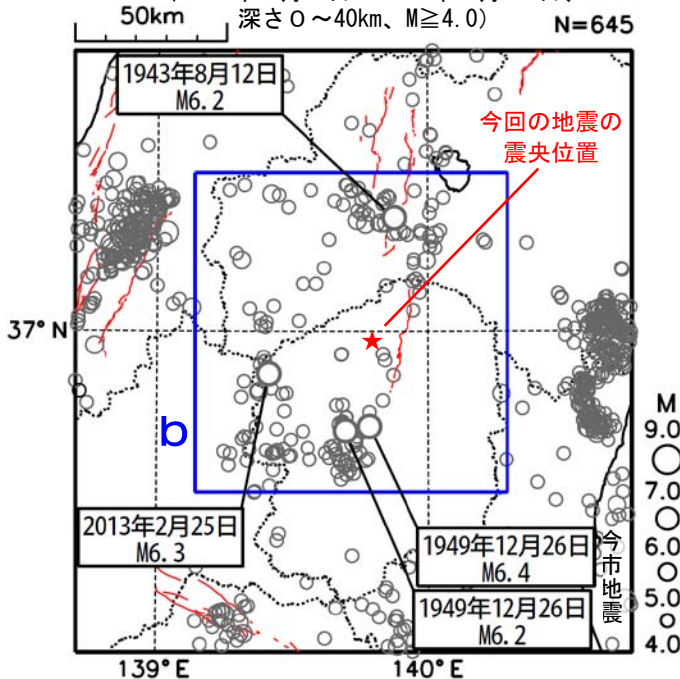
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1949年12月26日に今市地震(M6.4, M6.2)が発生しており、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟などの被害を生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2013年6月30日、
深さ0～40km、 $M \geq 4.0$)
N=645



震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による
主要活断層帯を示す

領域b内のM-T図

